

Ribes sinanense F. MAEKAWA, nom. nov.

Ribes grossularioides MAXIMOWICZ in Bull. Acad. Sci. St. Petersburg. **19** : 250 (1874), in Mém. Biol. **9** : 217 (1874) [non STEUDEL, Nom. Botan. ed. 1 : 691 (1821)].

M 氏ハ木曾（伊藤圭介氏）、中部高山及富士山（須川長之助氏）ヲ產地ニ擧ゲテ居ルガ、東大ニハ信州鳥居峠（松村教授及矢部博士）和田峠（松村教授）、南佐久郡北牧村（久内氏）上伊那郡美和村黒河内（朝比奈教授及久内氏）カラ來タ標本ガアル。（續ク）

植 物 畸 形 集（其七）

松 田 孫 治

M. MATSUDA: Notes on some anomalous plants (VII)

55) あかまつノ花粉ノ畸形

昭和13年5月20日ニ、生徒ニあかまつ (*Pinus densiflora* SIEB. et ZUCC.) ノ花粉ヲ見セル目的デ、本校標本室近クノ樹ヨリ雄花ヲ採集シテ來テ顯微鏡ニ裝置シテ見タトコロガ、第69圖ニ示スガ如キ4個ノ氣嚢ヲ有シ、且、普通ノ花粉ノ2倍大アル1個ヲ見出スコトガ出來タ。

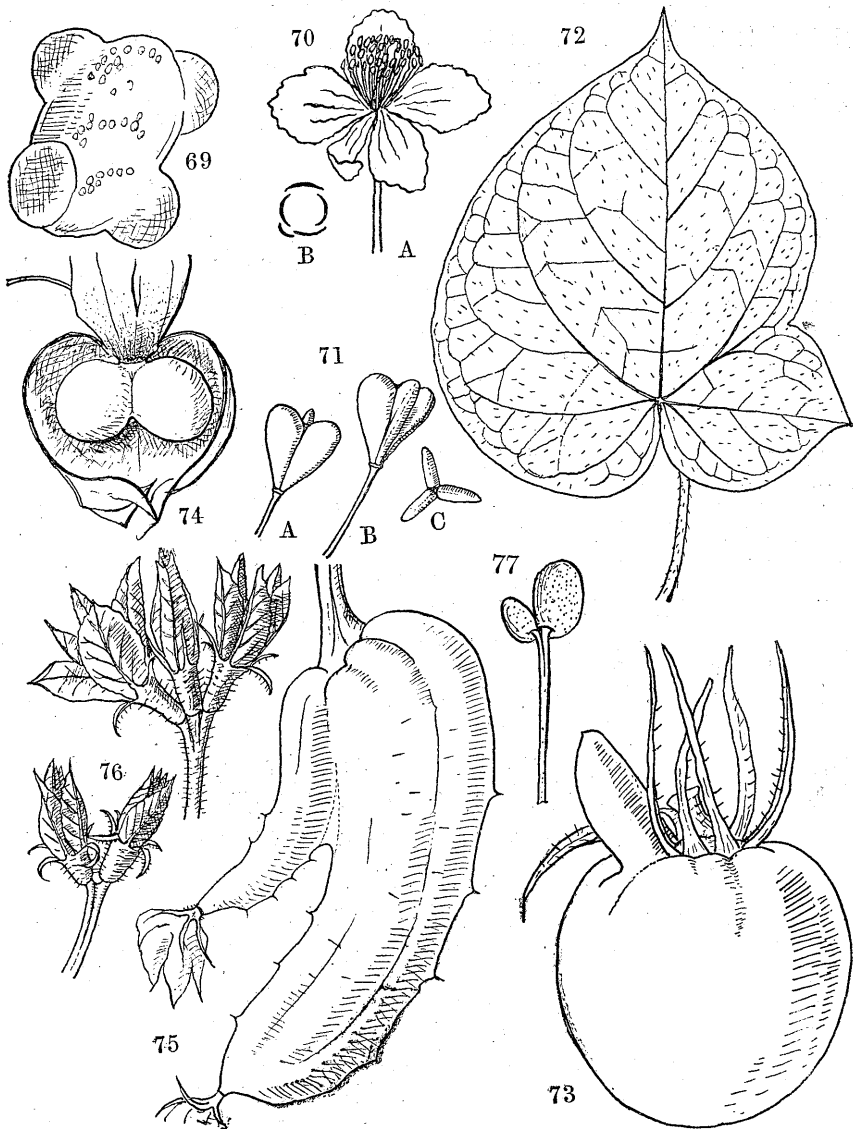
56) くさのわうノ多瓣花

くさのわう (*Chelidonium majus* L.) ノ花瓣ハ元來ハ4枚デアルコトハ、今更云フ迄モナイコトデアルガ、第70圖ノ如ク5枚トナツタモノガアツタ。5枚ノ中ノ1枚ハ甚ダシク細クナツテ居ツタガ、他ノ4枚ハ大型デ殆ンド同形デアツタ。コノ圖ノ標本ハ、昭和13年5月14日ニ大館町ノ路傍ヨリ得タルモノデアル。

57) おほなづなノ3心皮ヨリ成ル果實

おほなづな (*Capsella Bursa-pastoris* MAKINO var. *pinnata* MAKINO) ノ果實ハ、2心皮ヨリ成ル軍配團扇狀ヲナス扁平ナルモノデアルガ、3心皮ヨリ成ル矢羽狀ニ3方ニ心皮ヲ生ジタモノガアツタ。斯ノ如キ畸形果實ガ、正常ノ果實ヲ生ズル株ニ混生シテ居ルモノヲ、大館町ノ路傍ニ屢々目撃スル。第71圖ノ標本ハ昭和13年5月16日ニ大館町ノ路傍ニ得タルモノデアル。

58) まるばあさがほノ缺刻アル葉



第 69-77 圖 説明ハ本文中ニアリ

まるばあさがほ (*Pharbitis purpurea* VOIGT) ハ、全縁デ心臟形ノ葉デアルガ、筆者ノ生家ノ屋敷ニ數年以來種子ガ自然ニコボレテ毎年花ヲ咲カセテ居ルモノニ、昭和13年8月ノ或朝ニ偶然ニモ第72圖ノ如キ、葉縁ノ一侧ニ缺刻ヲ有スルモノ1葉ヲ見出スコトガ出來タカラ茲ニ報告シテ置ク。

59) とまたうノ双生果

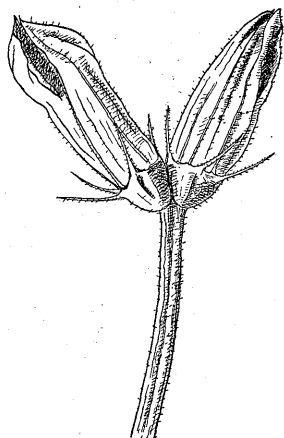
とまたう (*Lycopersicon esculentum* MILL.) ノ或園藝品種ニ、第73圖ニ示スガ如キ一侧ノ上部ヨリ拇指狀ヲナス小形ノモノガ突出シテ生ジタモノヤ、圖ニハ示サナイガ莖部ニ於テ癒着シテ2果共ニ同大トナツタモノガアツタ。圖ノ小形ナル方ニハ種子ヲ缺イテアツタ。コノ標本ハ筆者ノ畑ニ昭和13年ノ夏ニ生ジタルモノデアル。

60) ほほづきノ双生果

ほほづき (*Physalis Alkekengi* L.) ニ、第74圖ノ如キ畸形ガ生ジタルモノガアル。コノ圖ノ標本ハ、本校ノ植物ニ趣味ヲ持タルル關川教諭ガ、昭和13年秋ニ筆者ニ惠與セラレタルモノデアル。宿存萼ノ外觀ヨリハ正常ノ單一ノ果實ヲ有スルモノトハ異ナル點ヲ認メナカツタガ、中ニハ正常ノモノニ比シテ稍々小形ナル果實ノ基部ハ癒着シテ同大ノモノガ生ジテ居ツタ。同氏ノ談ニヨレバ、尙他ニ完全ニ分離シテ同ジ宿存萼ノ中ニ2個ノ果實ヲ有スルモノガアツタ由デアル。

61) きうりノ双生果

きうり (*Cucumis sativus* L.) ノ一園藝品種ニ、第75圖ノ如ク一方ハ大形デ、ソレニ小形ノモノガ癒合シク様ニ生ジタ双生果ガアツタ。筆者ハコノ果實ヲ蕾ノ時ヨリ見出シテ觀察シテ居ツタノデアル。蕾及ビ花ノ時ハ兩者同大デ、子房ノ下部一侧デ互ニ附着シテ居ツタノデアル。開花後ハ一方ノ子房ハ發育甚ダ良好デアツタガ、他方ハ甚ダ發育惡ク遂ニ圖ノ様ナル不同ノモノ2個トナルニ到ツタノデアル。圖ノ標本ハ昭和13年ノ夏ニ、筆者ノ畑ニ現ハレタモノデ充分ニ發育セザルモノヲ描ケルモノデアル。



第78圖 かぼちやノ或種ニ現レタ双生雄花

62) きうり及ビかぼちやノ双生ノ雄花

きうリノ雌花ノ双生花ハ即チ双生果トナルノデアルガ、雄花ニモ双生或ハ3個ノ花ガ同一花梗ニ生ズルコトガアル、第76圖ハソレデ、コノ圖ノ

標本ハ數年前ニ筆者ノ生家ノ畑ヨリ得タルモノデアル。又かぼちや (*Cucurbita* sp.) ノ或種ニモ双生花ヲ生ジタモノガアル。第78圖ハソレデコノ圖ノ標本ハ、昭和12年ノ夏ニ筆者ノ畑ニ出現セルモノデアル。茲ニ圖示シナイガきからすり (*Gymnopetalus japonicum* Miq.) ノ雄花ニモ、双生花ガ出ルコトガアル。筆者ハ數年前ニ斯ノ如キモノヲ數花ヲ得テ居ル。

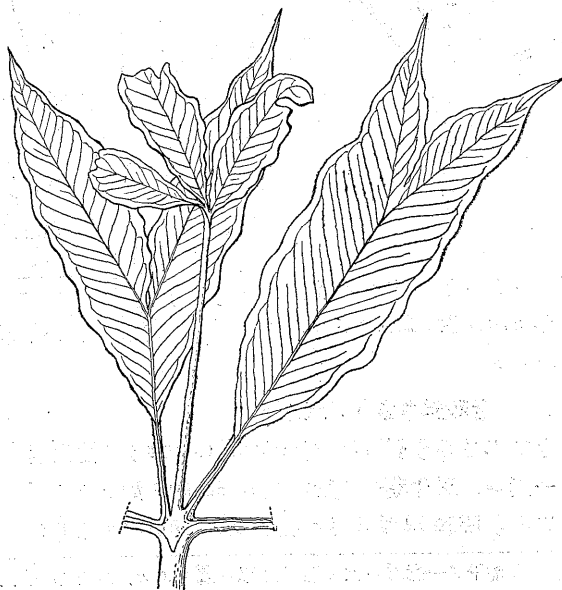
63) なつぐみノ双生果

なつぐみ (*Elægnus multiflora* THUNB.) ニ、第77圖ノ如キ双生果ガ出タモノヲ昭和13年ノ夏母ガ生家ノ樹ヨリ得テ持ツテ來テクレタ。一方ハ小形デ他方ハ大形デアツタガ、大形ナ方デモ正常ノモノニ比較スルト少シク小形デアツタ。

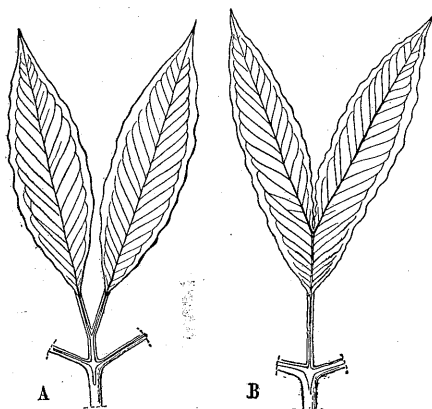
63) かうらいてんなんせうノ双形葉

かうらいてんなんせう (*Arisæma peninsulae* NAKAI) ノ鳥足狀複葉ノ中央ニ生ズル小葉片即チ中裂片ハ、普通ノモノデハ單一ノ小葉デアルガ、コレニ種々ノ異形ヲ出現スルコトガアル。

筆者ノ得タ其一ハ第79圖ノ如ク2小葉片カラ成リ、其中央ヨリ更ニ細長イ柄ヲ生ジ、先端部ガ小鳥足狀ノ複葉トナリ、ソノ小葉片ガ3裂片ヨリ成ルモノデアツタ。又ソノ右左ノ小葉モ簡單ナモノデハナク、一方ハ中央部ヨリ他ハ先端部近クヨリ又狀ニ分岐シテ居タ。其二ハ第80圖Aノ如クニ小葉柄ノ中央部ヨリ又狀ニ分岐シタモノデ、其三ハ第80圖Bノ如ク、小葉片ノ下部ヨリ又狀ニ分岐シタモノデアル。其四ハ葉柄ノ又狀ニ分岐シタモノデアル。第81圖ハ即チソレデ、葉柄ノ下部ニ於テ左右同大ニ分岐シテ、葉片ハ普通ノ



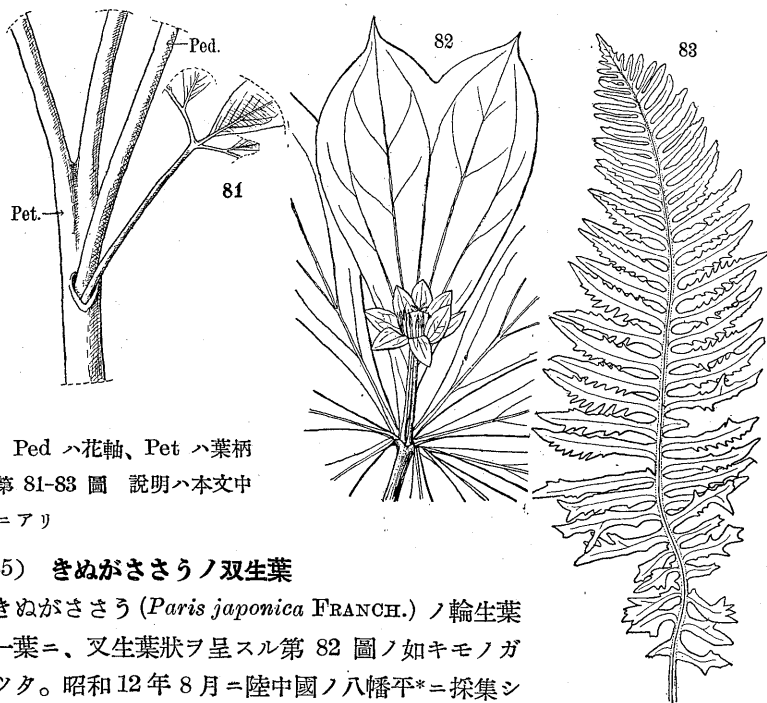
第79圖 かうらいてんなんせうノ畸形葉 (I) (×1/2)



第 80 圖 かうらいてんなんせうノ畸形葉
(其二) (×1/3)

モノト異ナル點ヲ認メナカツタ。分岐點ヨリ下部ハ正常ノモノニ比較シテ著シク扁大デ、且直立シテキタ爲ニ、花莖ノ方ハ斜ニ生ジテキタ。又又生ヲナス葉ノ上部ニ出ルベキ葉ハ、著シク小形ノモノデアツタ。

本圖ノ標本ハ昭和 13 年 6 月、本稿其六 (50) ニ報告シタ標本ヲ得タ北秋田郡東館村ノ同ジ場所デ得タモノデアル。種名ハ中井先生ノ御教示ニ依ルモノデアル。同先生ニ厚ク御禮ヲ申シ上ゲル次第デアル。



Ped ハ花軸、Pet ハ葉柄
第 81-83 圖 説明ハ本文中
ニアリ

65) きぬがささうノ双生葉

きぬがささう (*Paris japonica* FRANCH.) ノ輪生葉ノ一葉ニ、又生葉狀ヲ呈スル第 82 圖ノ如キモノガアツタ。昭和 12 年 8 月ニ陸中國ノ八幡平*ニ採集シ

* 八幡平ノ一部分ハ秋田縣鹿角郡ニ屬スルガ、鹿角郡ハ陸中國ニシテ羽後國ニアラズ。屢々鹿角郡ハ羽後國ナルガ如キ記事ヲ見ルコトガアルカラ參考マデニ附記シテ置ク。

タルモノデアル。

66) ししがしらノ缺刻狀羽片及ビ裸葉ノ實葉化

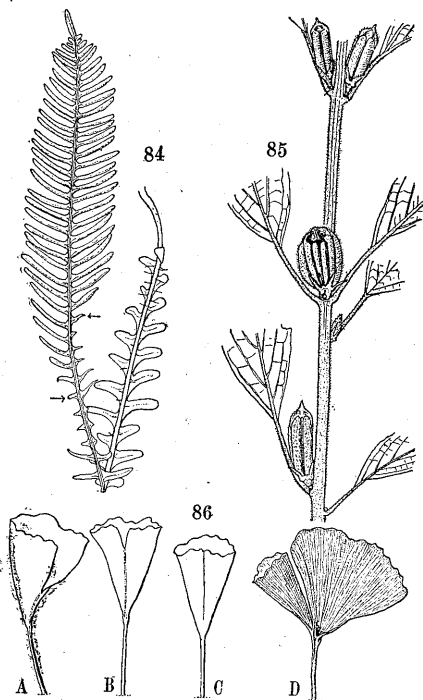
ししがしら (*Polystichum nipponicum* MAKINO) ノ實葉ノ羽片ノ或モノニ分岐スルモノノアルコトヲ、宮澤文吾・吉江清朗兩氏ハ植物及動物第6卷第3號ノ「羊齒類に於ける又生葉及其他の畸形」中ニ報告セラレテ居ルガ、筆者ハ裸葉ノ裂片ノ殆下全部ガ鋸齒狀・又生狀乃至缺刻狀ニナリタルモノヲ、昭和10年8月北秋田郡山瀬村ノ田代岳ノ山麓ニ同ジ一株ヨリ數葉ヲ得タ。其翌年ニ同株ヲ見タラ全部ガ正常ノ葉ヲ生ジテ、斯ノ如キ畸形葉ヲ1枚モ認メラレナカツタ。

又裸葉ノ上半部ガ實葉トナツテ居タモノヲ、昭和12年8月ニ北秋田郡前田村デ採集シタ。コノモノハ實葉ト同様ニ直立シテ生ジ、實葉ト混生シテキタ。矢印デ示シタ部分ヨリ上部分ハ實葉部分デ、裸葉ヨリ實葉ニ移ル部分ノ裂片ハ甚ダ短カツタ。

67) ごまノ畸形果

ごま (*Sesamum indicum* L.) ノ花ハ對生スル葉ノ腋ニ生ズル故ニ、果實モ亦葉腋ニ生ズルモノナルコトハ云フ迄モナイガ、昭和13年ノ夏、大館町ノ某塵捨場ニ生ジタごまノ一株ノ或枝ニ、第85圖ノ如ク2葉ノ側方ニ2果ガ癒着シタ様ナ形態ヲナスモノガ生ジテ居ルモノヲ得タ。

本種ノ葉ハ正シク對生スルコトモ



第 84-86 圖 説明ハ本文中ニアリ

アルガ、又然ラザルコトモ少クナイ様デアル。第85圖ノ下部ノ節ノ葉ハ正シク對セザルノミナラズ、一方ノ葉ハ著シク小形デ葉腋ニハ發育甚ダ不良ノ蕾ヲ生ジテキタ。上部ノ節ノモノハ稍上下ハアルガ相對生スル葉ナルコトハ容易ニ肯定セラレト思フ。中央ノ畸形ノ果實ヲ生ゼル2葉ハ、其反對側ノ蕾ヲ有スル小葉ト相對生スル葉ナルコトハ、上下ノ節ニ生ズル葉ノ狀態ヨリシテ考ヘ得ル。從ツテコノ畸形果ノ兩側ニ生ズル葉ハ、同一原始ニ由來セルモノデアルガ、

何カノ原因ニヨツテ其ノ原始ハ分離シテ2葉トナレルモノト思ハレル。而シテ葉腋ニ生ズル花ノ原始モ葉ノ分離ニ伴フテ分離セントシタノデアアルガ、遂ニ分離スルニ至ラズシテ斯ノ如キ畸形果ヲ生ズルニ到レルモノト思ハレル。

68) いちやう*ノ杯狀葉

いちやう (*Ginkgo biloba* L.) ノ杯狀葉ガ、宮澤文吾氏ハ宮崎高等農林學校ニ栽植セル一株ニ生ズルコトヲ植物及動物第1卷第11號ニ、又亘理俊次氏ハ東京帝國大學構内ニアルコトヲ本誌第12卷第2號ニ報ゼラレテ居ル。

筆者ハ上記ノ文獻ニ接シテ以來、コノ杯狀葉ハ方々ノ樹ニ出現スルモノデアラウト想像シテ居ツタノデアアル。昭和13年ノ秋生徒ニ紅葉ノ授業ラスル際ニ、本種ニ杯狀葉アルコトヲ話シテ置イタ所ガ、生徒安保潔君ガ間モ無ク第86圖ノC型ノモノ1葉ヲ發見シテ來テ筆者ニ示シタノデアアル。其翌日ハコレニ刺戟セラレタ同級ノ生徒ハ、2個所ノ全然別ノ株ヨリB,C型ノモノヲ若干見出シテ來タノデアアル。最初ノ樹ハ大館町下町ノ某神社境ニアル相當年數ヲ經タ雄株デ、其翌日ノ樹ノ一株ハ花岡町ノ某所ニアル相當ノ年數ヲ經タルモノデコレハ雌株デアツタ由デアアル。尙他ノ株ハ大館驛前ノ忠犬ハチ公銅像附近ニアル幼樹デ、未ダ開花ヲ見ザル故ニ、雌雄何レカ不明デアツタ。

昭和13年11月3日ノ明治節式終了後、筆者ハ大館町淨應寺ノ墓地ニアル老雌株ノ落葉中ヨリ、第86圖ノA型ノモノ3葉、B型ノモノ7葉、C型ノモノ4葉、D型ノモノ1葉ヲ見出シタ。尙又同町ノ遍照院ノ比較的若い雌株ノ落葉中ヨリ、B,C型ノモノ各1葉ヲ見出シタノデアアル。

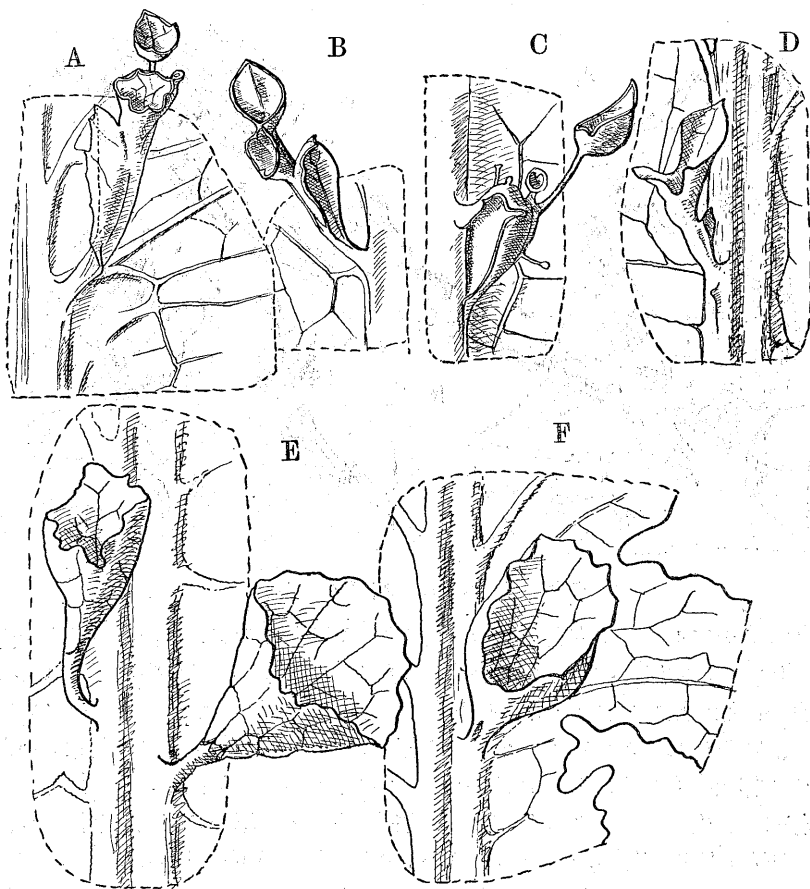
以上ヨリスルト、杯狀葉ハ方々ノ株ノ雌雄老若ノ株ヲ問ハズニ生ズルモノノ様デアアル。

69) かんらんノ葉ニ生ズル附屬小葉及ビ杯狀體

かんらん (*Brassica oleracea* L. var. *capitata* L.) ノ葉ニ、附屬小葉及ビ杯狀體ノ生ズルコトヲ、亘理氏ガ本誌第14卷第5號ニ詳細ニ及ンデ記述セラレテ居ラレタノデ、是非コレヲ見テ置キタイト思ツテ居ツタ所、昭和13年8月ノ休暇ニ歸省セルニ際シテ家ノ畑ニ出テ見タラ、附屬小葉及ビ杯狀體ノアルモノヲ數葉見出スコトガ出來タ。其一例ハ第87圖Aデアアル。コレヲ初メトシテ11月中旬迄ニ入手セルモノノ中カラ顯著ナリト思ハルモノ十數例ヲ茲ニ紹介シタイト思フ。

先ヅ奇態ナル形ヲナス杯狀體ヨリ紹介スル。第87圖A,Bハ附屬葉片ノ上部

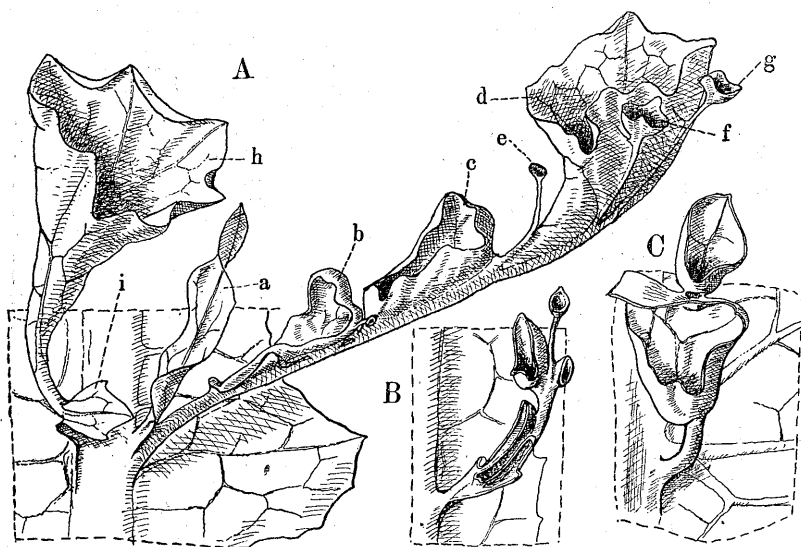
* 大言海ニ據レデいてふハ非ニシテいちやウト記スベキデアルト云フカラ、茲デハソレニ從ツテ書クコトニシタ。



第 87 圖 かんらんノ杯狀體（其一）

ニ 2 個ノ杯狀體ヲ有スルモノデ、A ハ上部ノモノハ有柄デ、B ハ 2 個ガ癒着シテ居ルモノデアル。C ハ短柄ノ小形ナル杯狀體ト、少々長キ柄ヲ有スル杯狀體トノ 2 個ヲ、附屬葉片ノ背側上部ニ生ジタル他ニ 3 個ノ蝸牛角様ノ突起物ヲ生ジタルモノデアル。D ハ少々大形ナル 1 個ノ杯狀體デ、其基部ニ附屬葉片ヲ有シ且ツ下部ニ小隆起物ヲ有スルモノデアル。E ハ大形ノ有柄ノ杯狀體ガ、略々對生ノ位置ニ生ジテ居ルモノデアル。F ハ大形 1 個ノ杯狀體ヲ有スルモノデアル。以上ノ杯狀體ハ一葉ニ唯 1 個生ジタルモノデアル。

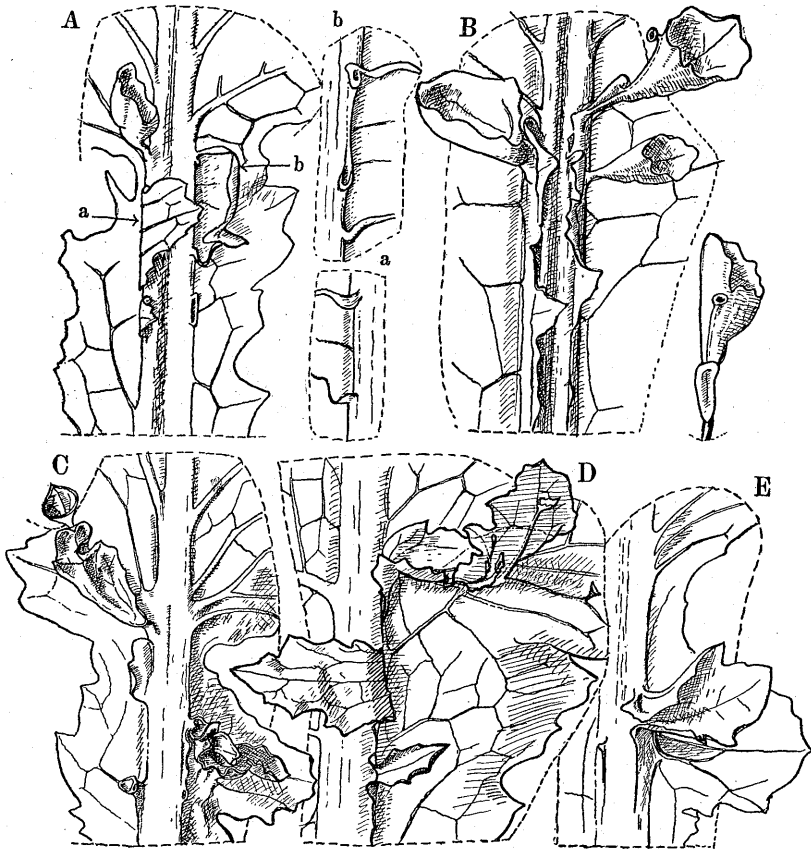
第 88 圖 A ハ甚ダ複雑シタル葉狀體ト、1 個ノ大形ナル杯狀體トガ對生シテ



第 88 圖 かんらんノ杯狀體 (其二)

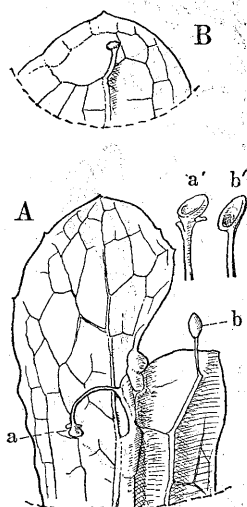
居ルモノデアル。A ノ基部上ニハ短柄ノ附屬葉 (a) ガ生ジテ、表面ハ下方ニ向ツテ居ツタ。其近クニ見ラレル杯狀體ノ如キモノ (h) ハ、實ハ杯狀體デ無ク、下部ハ兩縁ガ流レテ居ツテ杯狀體ト附屬葉片トノ中間ノ形ヲナシタモノデアツタ。其上背部ノ一部分ニハ小形ナル杯狀體 (c) ヲ生ジテアツタ。其次ニハ大形ナル杯狀體 (d) ガ有リ、下部上側ニハ一個 (e) 側方ニハ 2 個 (f, g) ノ都合 3 個ノ杯狀體ヲ生ジテアツタ。コレ等ノ反對側ニ生ジタル單一ノ杯狀體 (h) ハ有柄デ、下部ニ附屬葉片 (i) ヲ生ジテ居ツタ。柄ニ對スル面即チ圖ニ示ス面ハ表面デアツタ。コノ附屬葉片ノ下側縁ハ、主脈ニ沿フテ流下シテアツタ。B ハ基部ニ複雑ナル附屬葉片ヲ有シテ、上部ニハ 3 個ノ杯狀體ヲ有スルモノデ、一ハ稍々大キク無柄デ、コレニ背合セニナツテ小形ノ無柄ノ杯狀體ガアリ、コノ兩者ノ中間カラ有柄ノ小形ナル杯狀體ガ生ジテ居ルモノデアル。c ハ 2 個ノ杯狀體カラ出来テ居ルモノデ、下部ノモノハ大形デ、其上部ニハ無柄ノ小形ナル杯狀體ガ生ジテ居ルモノデアル。以上述ベタル第 87 圖ノ各及ビ第 88 圖 A ハ各一葉ゴトニ生ジタルモノデ、第 88 圖ノ B, C ハ一葉ニ附屬葉片ト共ニ生ジタルモノデアル。

第 89 圖ノ A, B, C, D ハ杯狀體ト附屬葉片トガ共ニ生ゼルモノデ、A ハ 1 個ノ有柄杯狀體ト大小 4 枚ノ附屬葉片ノ生ゼルモノデアル。a', b' ハ a, b ノ主脈ニ

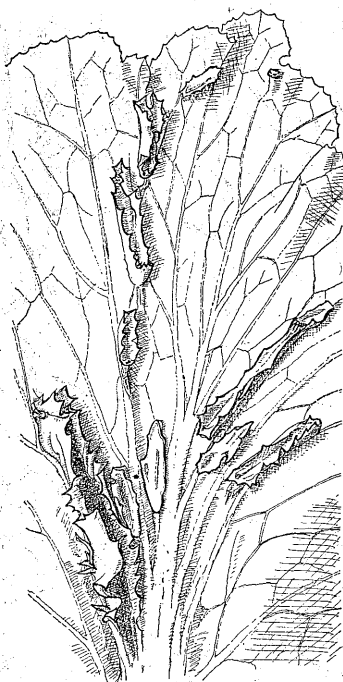


第 89 圖 かんらんノ附屬小葉及び杯狀體

着ケル部分ヲ示セルモノデアル。Bハ3個ノ著シキ杯狀體ト、數葉ノ附屬葉片ヲ有スルモノデアル。向ツテ右ノ上部ノ杯狀體ハ、上側ニ小形ナル杯狀體ヲ生ジ、基部ノ上側ニハ附屬葉片ト杯狀體トノ中間的形ヲナスモノヲ生ジテアツタ。其ノ下方ニハ單一ノ杯狀體ヲ生ジ、其基部附近ヨリ小葉片ガ翼狀ニ長ク流下シテアツタ。左ノ方ニハ廣濶ナル杯狀體デ柄ハ太ク、基部ニハ稍々廣イ附屬葉片ヲ生ジ、コレヨリ下方ニハ翼狀ノ附屬葉片ガ長ク生ジテアツタ。B'ハ右上部ノ杯狀體ヲ上側ヨリ見タルモノデアル。Cニ在リテハ、向ツテ左上部ノモノハ、先端ニ有柄ノ杯狀體ヲ生ジ、其下部ニハ附屬葉片ト杯狀體トノ中間的形ノモノヲ生ジ、基部ハ正常葉片ノ脈ニ癒着シテアツタ。其下部ニハ附屬葉片ヲ生ジ、更



第 90 圖 かんらんノ小
杯狀體



第 91 圖 かんらんノ無柄杯狀體

ニ其上方ニハ短ク太
イ柄ヲ有スル杯狀體
ヲ生ジ且ツ縁ノ一部
ニハ小陷凹部ガアツ
タ。右側ニハ不規則
ニ出入スル杯狀體ヲ
生ジ、其基部ニハ附
屬葉片ト杯狀體ノ中
間的形ノモノヲ生ジ
テ居リ、コレヨリ翼
狀ニ流下スル附屬葉
片ヲ生ジテ、下端附
近ニ少シク隆起シテ
陷凹スルモノガアツ
タ。前同様ニ正常葉
片ニ癒着シテアツ
タ。Dハ附屬葉片ト
小形ナル杯狀體ヲ有
スルモノデアル。上
部ノ附屬葉片ハ正常

葉片ト脈ニテ癒着シテ、上半部ニテ遊離セルモノデアル。其正常葉表面ニ對スル表面ニハ4個ノ杯狀體ヲ生ジ、又正常葉片ニモ小形ナル杯狀體ガ生ジテアツタ。コレ等ノ杯狀體ハ葉脈上ニ生ゼルモノデアツタ。下方ニハ大形ナルモノト小形ナル附屬葉片ヲ生ジテアツタ。Eハ1枚ノ稍々大形ナル附屬葉片デ、上下ヨリ基部ニ於テクビレテ居ルモノデアル。基部ニハ正常葉片ニ少シク癒着セル傾向ガ認メラレタ。以上ノ他ニ種々ノ型ノモノガアツタガ省略スル。

第90圖ハ正常葉片ノ表面ノ脈上ニ小形ナル杯狀體ヲ生ジタモノデ、a'ハaヲ、b'ハbヲ廓大シタモノデアル。Bハ柄ノ先ガ球狀ヲナシテ居ルモノデアル。

第91圖ハ表面上ニ不規則ナル杯狀體及ビ附屬葉片ヲ有スルモノデアル。總テ葉脈上ニ或ハコレニ沿フテ生ジタルモノデアル。圖デモ明カナ通り一葉ノ中央ヨリ上部ノ主脈附近ニ生ジタルモノデアル。

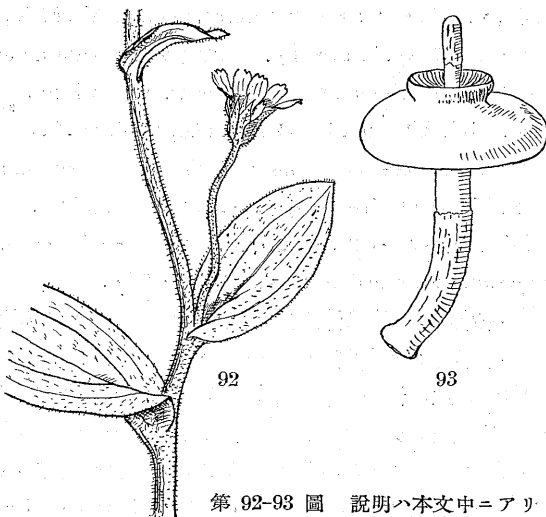
上ニ述ベタモノハ總テ杯狀體ハ下面杯狀體デ、萌出シタ新芽デナク正常ノ株ノ下部ニ生ジタルモノデ、多クハ最下部ガ或ハ下部ヨリ2,3葉目ノモノデアツ

タ。一葉中ノ下部（第90-91圖ノモノヲ除ク）＝生ジタルモノデアツタ。又一般＝發育良好デアツテ結球性＝乏シキモノ＝多ク見受ケラレタノデアル。圖ノ標本ハ方々カラ集メタモノデ、第87圖全部ト第88圖A,Bヲ除ク他全部、第90,91圖ノモノハ大館町郊外ニ、第87圖E,Fハ昭和13年8月＝、他ハ11月＝得タルモノデアル。第88圖Aハ北秋田郡山瀬村ノ筆者ノ生家ノ畑＝、昭和13年8月＝得タモノデ、Bハ山本郡富根附ノ畑ニテ得タルモノデアル。

70) うさぎぎくノ花莖ノ分岐

うさぎぎく (*Arnica unalaschensis* Less.) ノ花莖ハ、武田久吉博士ガ高山植物圖彙ノ圖解中ニ「無枝」

ト記述セラレテ居ル如ク、普通ハ分枝セザルモノデアルガ、第92圖ニ示スガ如ク分岐セルモノヲ、昭和13年8月八幡平頂上ニテ採集シタ。其ノ枝ハ葉腋カラ出テ、小シク屈曲シテ花ヲ正常ノモノニ比シテ小形デアツテ。分岐ハ莖花ノ下部ヨリ生ジテアツタ。



第92-93圖 説明ハ本文中ニアリ

71) なめすぎだけノ 双生

なめすぎだけ (*Phacelia mutabilis* Fr.) ノ畸形＝、中形ノモノノ蓋部＝小形ナルモノガ、莖部ヲ上ニ向ケテ倒立ノ形デ生ジテ居ツタモノヲ、昭和9年10月＝北秋田郡大葛村ノ國有林ニテ、或ルぶなノ朽木ニ多數群生シテ居ルモノノ中カラ唯1個ヲ採集シタモノデアル。